

# 平成 30 年度災害時外国人支援サポーター養成講座 受講者募集要項

## 1 主催

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団

## 2 共催

石垣市

## 3 協力

一般社団法人石垣市観光交流協会

## 4 目的

本県は、海に囲まれた島嶼の環境にあり、他県とは海を隔てているため大規模な災害発生時、他県からの本格的な応援等には時間を要することが予想されます。その一方で、在住外国人に加えて外国人観光客数の増加など、災害時における多言語によるサポート体制の構築は喫緊の課題であり、万一の場合に外国人の方々がことばや文化の違いのみをもって避難所等で孤立することのない支援体制を確立する必要があります。

本講座は、参加者の「防災・減災」や「自助・共助」の意識を高め、大規模災害時に財団が立ち上げる「多言語支援センター」と協力し、避難所巡回を行い外国人の被災状況の確認や、ライフライン等に関する情報の収集および多言語発信等を担うことのできる人材を育成し、本県のソフト防災の基盤整備に寄与することを目的に実施します。

## 5 対象者

**全講座の受講参加が可能な方を対象とします。**語学に自信がない方でも、「やさしい日本語」により、外国人支援を担うことができますので、災害時における外国人支援に興味関心がある方でしたら、ぜひご応募ください。

## 6 災害時外国人支援サポーターの認定

全日程を受講された参加者は、当財団の「災害時外国人支援サポーター」に認定し、修了登録証（I.D.カード）を交付するとともに、サポーターとして活動できるよう、財団負担によりボランティア活動保険に加入いたします。

なお、全日程を参加した未成年参加者に関しては、受講証は交付しますが、大規模災害時の活動に際して保護者の同意を得ることが現実的ではないため、修了登録認定することはできません。

## 7 実施会場 石垣市立図書館（石垣市浜崎町 1 丁目 1）

## 8 実施スケジュール

本講義では平時から防災や減災に対する意識を高め、災害時の避難所等において外国人を含めた被災者にどのようなサポートをすることができるのか等について考え、知識を研鑽することを目的としていますので、講座は日本語で行います。

| 回             | 時間           | 内容  |
|---------------|--------------|---|
| 第1回<br>(11/7) | 13:00~14:50* | <b>【導入】災害時の外国人のニーズと財団の役割</b><br>他県の事例をもとに、外国人が災害時に対してどのような意識を持っているのか等を確認し、本事業の趣旨や大規模災害時における財団の役割について概説する。本講義を通して財団・サポーターとしてできる支援について考えていく他、災害時を取り巻く問題についてもこれまでの事例からみていく。  |
|               | 15:00~16:50* | <b>【講義・演習】災害時外国人支援の課題 -多文化共生社会の実現に向けて-</b><br>講義と演習を通して、県内に来県する外国人観光客や在住外国人が大規模災害時に直面するであろう問題や災害時のフェイズごとの支援のポイントを確認する。また「ストック情報」や「フロー情報」の理解を深めることで、「災害時外国人支援サポーター」として、どのような役割を担うことができるのか、具体的に学ぶ。  |
|               | 16:50~17:15  | <b>本日の振り返り・フィードバックシートの記入</b>  |
| 第2回<br>(11/8) | 10:00~10:50  | <b>【演習】外国人被災者支援のための「オンライン避難者登録フォーム」活用セミナー</b><br>外国人観光客の帰国や健康状態、在住外国人のこたばの壁等、大規模災害時に困難な状況に直面する外国人を支援するため、また避難所を巡回する職員や災害時外国人支援サポーターの円滑な情報収集を図るべく、「多言語オンライン避難者登録フォーム」の活用方法を学ぶ。本フォームは、当財団が開発したもので、大規模災害時に避難所巡回を通して得られる情報をデータ化し、各市町村や関係機関に円滑に情報提供できるよう整備された。 |
|               | 11:00~12:00  | <b>【報告】熊本地震多言語支援</b><br>2016年4月に熊本県で起きた熊本地震の際に、熊本市国際交流振興事業団により立ち上げられた多言語支援センターに実際に参加し、外国人支援を行った職員による活動報告を行う。報告を通してサポーターとしてどのような活動を行うのか、具体的にイメージすることを目的とする。  |
|               | 13:00~16:10* | <b>【講義・演習】災害時に役立つ「やさしい日本語」</b><br>東日本大震災や鬼怒川水害、熊本地震等でも注目された「やさしい日本語」とは何か、実際に我々が使っている日本語とどのように異なるのか等、基礎的なことを学ぶ。実際に災害時に使われる表現を「やさしい日本語」にする演習も行う。  |
|               | 16:20~16:50  | <b>【導入】避難所運営ゲーム（HUG 図上訓練）</b>   |
|               | 16:20~17:15  | <b>本日の振り返り・フィードバックシートの記入</b>  |
| 第3回<br>(11/9) | 10:00~12:45  | <b>【演習】避難所運営ゲーム（HUG 図上訓練）</b><br>これまでの講義で学んできたことを応用し、他の参加者と協力しながら避難所に見立てた模造紙の上に、被災者を敷地のどの位置に避難させた方が良いか等を考える、机上訓練「避難所運営ゲーム（HUG）」を行う。   |
|               | 12:45~13:00  | <b>本日の振り返り・フィードバックシートの記入</b>  |

\* 途中休憩を挟みます

\*\*内容は一部変更させていただく場合があります。

\*\*自然災害等により、「特別警報」及び「暴風警報」が発令された場合、講座は中止とします。

## 9 定員 40名程度

**10 募集期間** 平成30年9月3日(月)～10月21日(日)17時必着

## 11 申込方法

- ・当財団ホームページ (<http://kokusai.oihf.or.jp>)内にあるオンラインフォームに、必要事項を入力の上、**10月21日(日)17時まで**に申し込んで下さい。
- ・申し込みの際、オンラインフォームの最終画面「申請を受け付けました」を必ずご確認ください。
- ・募集定員を超える応募がある場合、募集を早めに打ち切る場合があります。
- ・参加の可否に関して、書面により**10月31日(水)までに応募者全員に通知**いたします。
- ・11月1日(木)以降、通知が届かない場合、下記お問い合わせ先まで必ずご連絡下さい。

## 12 個人情報の使用に関する同意のお願い

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団では、ウェブサイトやパンフレット、ポスター等の広報媒体において、事業に関する広報活動を広く行っております。事業内容を沖縄県民や関係機関にできるだけ具体的に表現するため、参加する皆さまの肖像(写真や動画など)を広報媒体に掲載させていただくことが非常に有効な手段であると考えております。皆さまの肖像につきまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 13 お問い合わせ

### 共催団体：

石垣市総務部防災危機管理室 真地(まじ)

住所：〒907-8501 沖縄県石垣市美崎町14番地

TEL：0980-87-5533 FAX：0980-83-1427

E-mail：bousai@city.ishigaki.okinawa.jp

### 主催団体：

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課 葛(かつら)

住所：〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-2-16

TEL：098-942-9215 FAX：098-942-9220

E-mail：kokusai@oihf.or.jp